

鞍手町子ども計画に対するパブリック・コメントの実施結果について

1. 意見の募集概要

意見の募集期間	令和 8年 2月 9日 ~ 令和 8年 3月 1日
実施の周知方法	町ホームページ・広報紙への掲載、公共施設（役場、中央公民館）への閲覧スペースの設置、SNSでの告知
意見の提出方法	ホームページ、郵便、FAX、持参

2. 意見内容とその対応

パブリック・コメントの結果、鞍手町子ども計画への反映が困難な意見であったことから、記載内容の修正、文言の追加等を行わず原案のとおりといたします。

項 目	件数	区 分			
		A	B	C	D
第1章 計画の概要					
第2章 こども・若者を取り巻く現状					
第3章 計画の基本的な考え方					
第4章 施策の展開	3			2	1
第5章 子ども・子育て支援事業計画					
第6章 計画の推進体制					
その他	2				2
合 計					

【区分の説明】

- A…意見を計画等に反映するもの      B…意見が既に反映されているもの  
 C…意見を今後の参考とさせていただくもの      D…意見を反映する見込みのないもの

3. 提出されたご意見及び町の考え方

No.	施策（頁）	ご意見	ご意見に対する町の考え方	区分
1	交通安全対策公共交通の利便性向上 (73ページ)	北九州方面への道路環境の改善 通学路における歩車分離の改善	いただいたご意見を担当所管課へ共有させていただきます。	C
2	居場所づくりの推進 (64ページ)	若手層に向けた食事場所以が少ない 例:マクドナルドやジョイフル等	企業の店舗進出について当計画へ反映することはできませんが、「様々な体験を通じて共に成長し、食事や学習支援等の提供を行う、こども・若者が気軽に立ち寄り安心して過ごせる第三の居場所」としてこどもの居場所づくりを推進していくなかで、ご意見にあるような若手層に向けた食事場の確保に繋げていければと思っています。	D
3	小学校統合整備事業 (61ページ)	4人のこどもを持つ父親です。 鞍手町内の小学校が統廃合されることが決まり、数年後には現剣南小学校に新設されます。しかし、剣北小学校校区ではスクールバスの運行がありません。スクールバス運行についての意見です。 我が家は剣北小学校校区で新しい小学校に変わるころには一番下の娘が3年生になる時です。 文部科学省が設定する【小学校の通学距離が「概ね4キロメートル以内」が適正な範囲】が基準とされており、剣北小学校校区もそれに伴い徒歩通学が想定されています。4キロの規定はありますが、総重量約4キロのランドセル（2025年平均）を背負って通学することとなります。（我が家は4キロの距離はありません）仮に低学年の児童が4キロ歩いて通学するとなると、近年の真夏の暑さでの体調不良や不審者（小学校から不審者情報も多い）などの防犯上の観点から、果たして4キロの基準を適用しても良いのか？と思います。（距離が遠いほどリスク大）児童の安全を守るためにスクールバスを運行すべきだと思います。中学校は自転車通学なのにほぼ同一距離にも関わらず、身体能力の低い小学生が徒歩通学なのも疑問です。お子さんを育てている家庭からも同様の声を聞きます。 親御さんによっては町長に直接お話をされたケースもあるようですが、前述した通りの理由があるという回答を頂いたようです。新しい学校が始まる時に徒歩通学で話が進むと事件や事故が起こらない限り、途中で通学方法が変わる事はないと思っています。何か起きてからでは遅いです。それを未然に防ぎ、こどもたちを守ることが行政や大人たちの役目ではないでしょうか？ 通学以外の観点から見ると、剣北小学校校区でスクールバスがないとなると、新しい人口の流入が減り、鞍手町からの流出が増える可能性もあります。 もちろん町の財政問題もあります。ですが、将来のこどもたちの安心安全な通学のために、どうかご検討をお願い致します。何卒宜しくお願い致します。	いただいたご意見を担当所管課へ共有させていただきます。	C

4	その他	<p>新しく鞍手に引っ越して来て、3人の子供を育てています。町役場も綺麗になり、図書館も新作が多くいつもありがとうございます。</p> <p>ご提案ですが、鞍手町は子供たちが少ないです。また、隣の中間市では給食費免除の申請が低所得者でなくても可能でした。</p> <p>子供たちの給食費を申請したら無償化など出来ればとても有難いです。</p> <p>子供がいるのでたくさんの食費が普段から掛かります。お米など子供のいる家庭へ農家さんから安く買える仕組み等あればとても有難いです。</p> <p>よろしく願います。</p>	<p>いただいたご意見を担当所管課へ共有させていただきます。</p>	C
5	その他	<p>町内に産婦人科が欲しい。</p> <p>小児科もくらの病院しかない。</p> <p>救急の小児科が欲しい。</p>	<p>町内にない診療科があることについては認識しております。婦人科や小児科救急については当町だけでなく近隣市町村も含めた医療圏での対応が必要であり、出生数が減少している中で病院経営も考慮した医療の在り方について、福岡県が実施している地域医療会議の中で定期的に検討しています。</p>	C